
リスキーミッション

極楽天

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

リスク・ミッション

【Nコード】

N9525A

【作者名】

極楽天

【あらすじ】

夜の闇の中で繰り広げられる男たちの葛藤。リスクをおかしてまで、彼らは目標を達成しようとする。

「だめだ。俺にはできない」

「ばかな。怖気づいたか？」

「リスクが高すぎる」

「そんなことを言ってるから、何もできないんだ」

「確かにそうかもしれない。けれども、そんなにリスクを冒してま
でしなければならぬことなのか」

「これ以上に重要なことがあるか」

「けど……」

「チャンスは今しかない」

「……」

「みんなすでに集まっている。彼らを待たせるわけにはいかない」

そう言う男は、窓の側に向かった。窓から見える景色には漆黒
が塗りこめ、この建物以外、明かりのついているところはほとん
どない。少し離れたところから波の音が聞こえる。あまりにも濃い闇
にそのまま引きずり込まれそんな感覚に陥る。

「大丈夫なのか」

「そう思うしかない」

わずか十数センチ。それが彼らの命の幅である。他の同志はすで
にそこに集まっていた。若干緊張しているようだ。無理もない、落
ちれば命はないのだ。

この危険を乗り越えても得たいもの。それはほんの数メートル先
にある。

「ようやくおでましか」

すでに立っている一人が、男に話しかけてくる。

「いいか。俺たちは絶対に見つかるわけにはいかない」

「ああ」

「道は他にないこともない。けれどもあっちには厳戒な見張りがつ

いている。だから多少の危険を承知でここを選んだわけだ。まさか外側から進入するとはやつらも思っまい」

「そうだな」

冷たい風が頬を突き刺す。けれども背にはじつとりと汗がにじんでいた。

「わざわざ命をかけて、女のところにいくのか」

「ふっ。男が命をかけるといったら、それしかあるまい」

「修学旅行で命を失ったら、それこそ大恥だろうなあ」

「おしゃべりはそこまでにしろ。気が散る」

「ああ」

塗りこめる闇の中、勇敢で無謀な男たちは、隣の明かりを求めて、命をかけた綱渡りをするのであった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9525a/>

リスキーミッション

2010年10月17日10時44分発行